

10/24
新井

安保法新任務へ準備を

自衛隊観閲式で首相訓示

稲田氏はPKO訓練確認

安倍首相は23日、陸上自衛隊の朝霞訓練場（埼玉県朝霞市など）での観閲式で訓示し、安全保障関連法に基づき「駆け付け警護」や「宿営」の共同防衛」など新任務への準備を急ぐよう指示した。



陸上自衛隊朝霞訓練場での観閲式で訓示する安倍首相。右は稲田防衛相＝23日午前

「整齊と」なしている」と評
価した。

政府は11月中旬にも新任務を活動内容に加える実施計画

変更を閣議決定する方向で調整している。稲田氏は、現地の治安情勢を踏まえて政府全体で最終判断する考えを記者団に示した。

首相は新任務について「尊い平和を守り抜き、次の世代へと引き渡していくための任務だ」と強調。「積極的平和主義の旗を高く掲げ、国際的な舞台で活躍してもらいたい」とも述べた。

北朝鮮による核実験や弾道ミサイル発射に触れ「わが国

を取り巻く安全保障環境はめまぐるしく変化した」と語り、安保法による日米同盟強化の重要性を訴えた。

稲田氏は陸自岩手山演習場（滝沢、八幡平市）で、来月から南スーダンに派遣される陸自第9師団第5普通科連隊（青森市）を中心とする11次隊による新任務訓練を見学。「駆け付け警護など一連の状況下における各種動作を整齊と」なしている姿を確認できた」と訓示した。

観閲式は隊員約4千人、戦車など車両約280両、航空機約50機の規模で実施した。